令和３年度
此花区運営方針の実績・評価
及び
令和４年度
此花区運営方針の取組状況

此花区役所

「令和３年度此花区運営方針及び令和４年度此花区運営方針」

- 経営課題１　防災・減災
- 経営課題２　子ども
- 経営課題３　福祉
- 経営課題４　まちづくり・環境

Point

令和３年度から、上記の４項目を重点的に取り組む主な経営課題と位置づけています。

経営課題１　防災・減災

現状	課題	Ｒ３年度　取組	Ｒ３年度　実績	Ｒ３年度　評価	Ｒ４年度　取組
避難所定員不足 ≪津波災害時≫ 要避難者数 ：約36,000人 避難所定員 ：約8,200人 ≪上町断層帯地震時≫ 要避難者数 ：約8,500人 避難所定員 ：約2,600人 ※コロナ対応時	多くの区民に此花区災害時区民避難指針に沿った避難計画を作成いただき、区外への分散避難も含め、適切な避難行動をとるように備えの促進が必要	地域防災リーダーと協働して、地域の各種会議等でわが家の避難プランの作成を促進 各種イベント等で啓発・相談会を実施し、わが家の避難プランの作成支援	「わが家の避難プラン」 **配布合計：19,000世帯** ・各連合の町会長会議において説明及び用紙配布 **：18,000世帯** ・中学校２校での防災授業で用紙配布及び作成支援 **：700世帯** ・各種団体等に 用紙配布 **：300世帯** コロナ禍による各種イベントの中止、学校での授業の遅れなどで作成支援の機会が不足	わが家の避難プラン作成「チェックシートの回収」 **目標：5,000世帯** **回収：4,200世帯** 取組としては順調であったが、コロナの影響で目標は未達成 令和４年度は小学校全８校、中学校全３校での作成支援が図れるよう調整が必要 重点地域を選定して郵送による各戸配布を検討 可能な限り開催されるイベントに参加し、啓発・相談会の実施が必要	「わが家の避難プラン」の作成の支援促進 **目標　4,000世帯** **（R3年度との累計8,000世帯）** 作成世帯数の少ない地域を重点地域（２地域）に選定し、郵送による世帯配布を実施 広報紙やホームページでの啓発（継続） 小学校（全８校）・中学校（全３校）において「わが家の避難プラン」の支援・促進を取り入れた防災授業の実施 町会に加入していない世帯への啓発や支援・促進のため、各種イベント等で啓発・相談会を実施
津波・大津波時の津波避難ビル等へ避難することを知らない区民が多い					
自宅の安全基準や自宅周辺の海抜を知らない区民が多い					

水害時の此花区の特徴について

水害時の此花区の特徴

あなたや大切な家族のため前もって「わが家の避難プラン」を作っておくだけで守れる命も多いです。

たとえば 大津波では

みんなが正しく逃げないと津波での犠牲者は多数！

みんなが正しく逃げれば津波での犠牲者は極めて少なくなる！

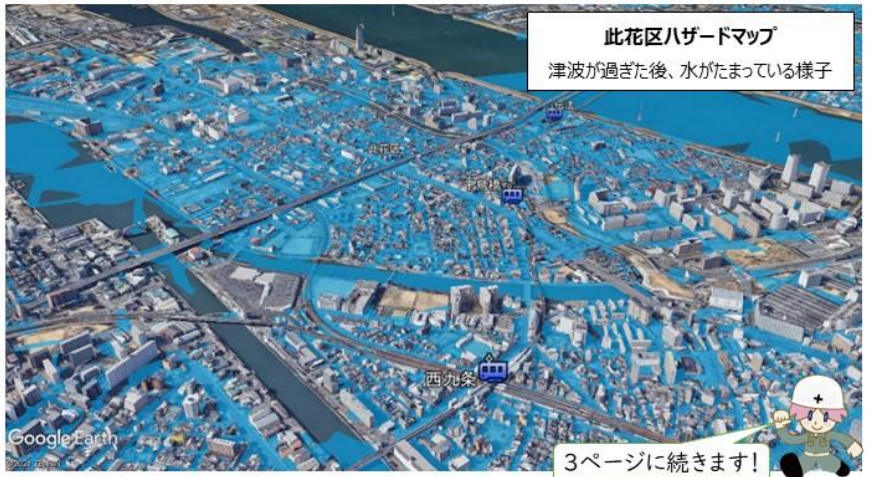
私の家は 大丈夫 だよね？

此花区では
住宅地はほぼ全て浸水します

お住まいが4階以上なら浸水はしませんので、ご自宅で避難してください。
ですが、ご自宅が安全でなくなった場合に備えて、避難の検討は必要です！

避難って学校に逃げればいいんだよね？
テレビでもよく見るよ。

学校に避難できても
1週間以上水がひかず閉じこめられることもありえます。



3ページに続きます！

じゃあ どこに逃げれば良いの？

災害の種類ごとに検討が必要ですが、次の3種類は特に注意！

種類	大津波	淀川洪水	スーパー高潮
避難先の目安	丈夫な建物※等の3階以上［区内最大 約 5 m］	1983年以降に完成した建物等の3階以上［区内最大 約 6 m］	1983年以降に完成した建物等の4階以上［区内最大 約 8 m］
備考	避難先は通常時30分で行ける場所に限る［徒歩:2㎞ 自転車6㎞ 程度］	被害想定は正蓮寺川の北と西九条のみ	危険な場合1日前までに自主避難を呼びかけ

※P10(1),(2)を満たす建物

淀川洪水や高潮のように事前の情報等により、早い段階での行動ができれば、**区外などの安全な場所へ避難を！**

特に**自主避難の呼びかけ**があった場合は、**公共交通機関が動いている間に遠方への避難**を考えましょう！

他に気を付けた方がいいことってある？

地震後の津波発生など避難する時間がない場合は、**津波避難ビル等へ避難**しましょう！

ただ、津波避難ビルは**満員で入れない**こともあるので、できれば、**知人、親せき宅・ホテルなどの避難を相談**しておきましょう！

次の高台・高架橋も避難可能です
A 正蓮寺川公園東側の高台
B 嬉ヶ崎橋［北港通］
C 安治川大橋［43号線］
D 正蓮寺川橋［43号線］

それでは**わが家の避難プラン**を作成しましょう。
避難先チェックシートもご確認くださいね！

わが家の避難プランと避難先チェックシートについて

わが家の避難プラン② ～台風・大雨編～

保存版

災害時に予想外の被害で、**学校に入れなかったり、自宅が安全でなくなること※**も考えられますので、**避難先AとBを記入してください。**

※自宅の安全性については、P8のご自宅の安全基準やP10(1)でご確認ください。

まずは‥

テレビ・ラジオ・此花区Twitter等で状況を確認！

2日前

できるだけ、雨風が強まる前に避難を！

できる → 浸水しない安全な建物などへ避難

※区外への避難も検討！

わが家の避難先A

できない

1日前

避難に時間がかかる人は？（車いす者、妊産婦、乳幼児づれの方）

いる → 警戒レベル３ 高齢者等避難 が発令されたら

いない

淀川洪水・スーパー高潮の場合

ただちに近隣の心身の負担の少ない避難先へ！

わが家の避難先B

数時間前

警戒レベル４ 避難指示 が発令されたら

次の条件に当てはまりますか

※原則 学校以外

- 自宅から30分以内に移動できる場所
  [目安：徒歩2km・自転車６ｋｍ以内]
- 浸水しない安全な場所
- 1983年以降に完成した建物［新耐震基準に相当］
- スーパー高潮の場合は４階建て以上
- 淀川洪水の場合は３階建て以上

警戒レベル５ 緊急安全確保 が発令された場合

氾濫発生

避難が難しい場合

少しでも高い場所へ避難

避難先チェックシート -避難先を正しく決められたか確認しましょう！！-

提出用

【お住いの地域】[□に✓してください]

□西九条　□四貫島　□梅香　□春日出　□伝法　□高見　□恩貴島　□酉島　□島屋　□桜島

町会名	住所(丁目までで結構です) 電話番号(任意です)	氏名(任意)	世帯人数	うち要支援者	重複
	大阪市此花区 電話　（　　）　—		人	人	

※「うち要支援者」は、ご家庭で災害のときに避難をする際、一人で避難できず支援が必要な方がいる場合は人数を記入してください。

※「重複」欄は、すでに学校等経由で記入し、ご提出された方は「○」を記入してください。
「重複」欄に「○」を記入された方は以下のチェック表の記入は不要ですが、この用紙のご提出はお願いします。

※ご記入いただいた個人情報は、当区役所における防災行政にかかること以外で使用しません。また、当該チェックシートは区役所で厳重に管理し、個人情報を第三者に提供することもございません。

【自宅について】

1)ご自宅は、以下の基準をすべて満たしていますか。　□はい　□いいえ※

※いいえの方は以下、満たしているものに 図してください。

- □4階建て以上の建物または鉄筋コンクリート造・重量鉄骨造の建物に居住
- □津波でも浸水しない階高まで避難可能[３階以上、2階以下でも「此花区水害ハザードマップ」の「南海トラフ巨大地震…」で確認]
- □1983(昭和 58)年以降に建築[新耐震基準に相当]

2)ご自宅周辺の海抜はご存じですか[P4 海抜図参照][□に✓してください]　□はい　□いいえ

□1m 以上[緑]　□0～1m(黄)　□0m未満[赤・黒]

わが家の避難プラン①地震発生！

【避難先①について】

3)心身の負担の少ない避難先を記入できましたか　□はい　□いいえ

[１週間近く滞在することも想定されます]

4)避難先の種類はどこですか[□に✓してください]

- □知人・親せき宅　等
- □高架橋・高台　等
- □津波避難ビル
- □その他(　　)

5) 避難先の建物は安全ですか

上記【自宅について】の1)のような安全基準を満たしていますか　□はい　□いいえ

裏面につづく